

Glyco26 (Taiwan) 国際学会派遣報告書

生命農学研究科 応用生命科学専攻
博士課程後期課程 3年 戸田さくら

- ・出張先：台湾、台北市 中央研究院
- ・出張期間：2023/8/24-9/3
- ・出張目的：Glyco26 およびそのサテライトミーティングへの参加、ポスター発表
- ・概要：台湾、台北市 中央研究院 (Academia Sinica) にて行われた国際学会 Glyco、およびそのサテライトミーティングに参加した。本学会は糖質をテーマとする国際学会であり、単糖および機能性糖鎖についてあらゆるアプローチから議論される。今回は Functional Significance of the C-Domain of the Fish CMP-Sialic Acid Synthetase (CSS) というタイトルでポスター発表を行った。また、メインセッションとは別にサテライトミーティングとして Galectin、および Glyco Neuro が表題に掲げられた口頭セッションおよびポスターセッションを見学し、知見を深めた。
- ・所感等：これまで日本で開催された国際学会には参加経験があったが、海外渡航しての参加は初めてであったため、事前の手続きや飛行機搭乗も含めよい経験となりました。ポスター発表では Introduction で引用している論文のラストオーサーがいらしてください、丁寧に発表を聞いてくださったり、ポスターには提示していないステップの大変さを評価してくださったりと充実した時間を過ごせました。

サテライトミーティングでは当研究室の教授の発表も含めて非常に興味深い発表が多数あった他、日本の学会では見られにくい研究室同士の競争の激しさを目の当たりにし、研究の世界の厳しさを改めて感じ、自分の研究へのモチベーションアップにつながりました。

その他、渡航中に同行者が Covid19 に感染するトラブルに見舞われましたが、その際の対処法を学ぶ良い経験になりました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださった北島健教授、佐藤ちひろ教授と、ご支援くださった GTR の関係者様に深く感謝申し上げます。



学会会場のパネル